

台東区区有施設地球温暖化対策推進実行計画（第五次及び第六次計画）
の進捗状況について

1 概要

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく「地方公共団体実行計画（事務事業編）」として本計画を策定することで、区が実施する事務事業及び区有施設に係る温室効果ガス排出量の一層の削減を進めている。

令和6年度の進捗状況について、報告する。

2 第五次及び第六次計画の概要

(1) 計画期間

第五次計画：令和2年度から令和6年度まで（5年間）

第六次計画：令和6年度から令和12年度まで（7年間）

R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
第五次計画										
				第六次計画						

(2) 対象施設

区及び指定管理者が管理する区有施設

(3) 対象とする温室効果ガス

二酸化炭素（CO₂）

(4) 削減目標

①温室効果ガス排出量

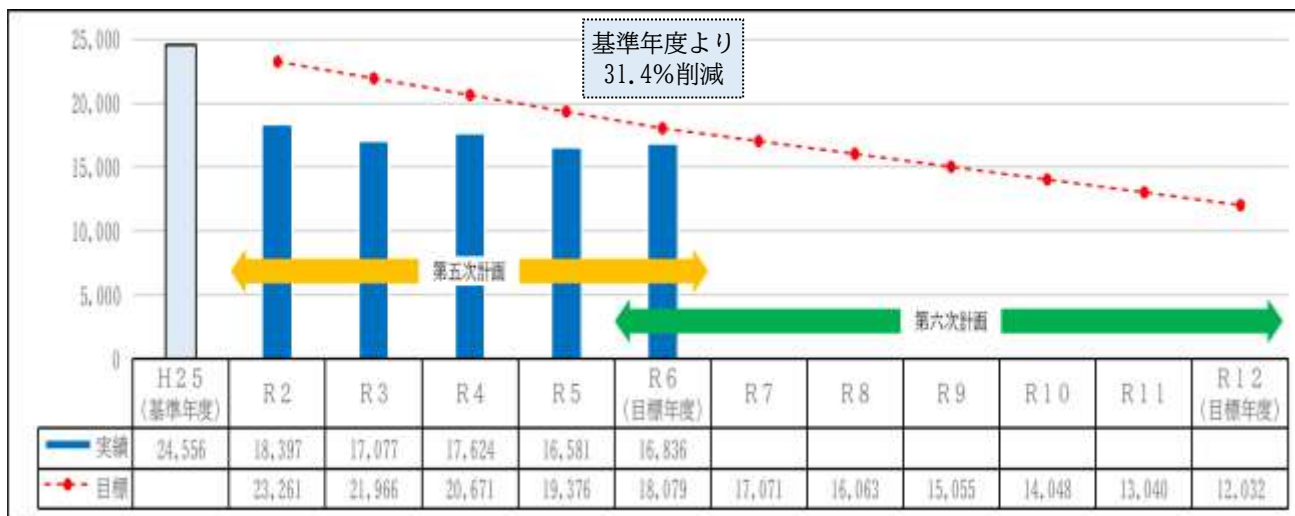
種 別	基準年度 (平成25年度)	削減目標	
		第五次計画	第六次計画
二酸化炭素（CO ₂ ）	24,556 t-CO ₂	26%以上	51%以上

②エネルギー等使用量

種 別	基準年度 (平成25年度)	削減目標	
		第五次計画	第六次計画
電 気	39,187 千 kWh	20%以上	37%以上
ガ ス	2,143 千 m ³	4%以上	4%以上
ガソリン等車両用燃料	124,857 L	12%以上	50%以上
水	583,626 m ³	8%以上	8%以上
用 紙	124,551 kg	4%以上	4%以上
ご み	356,087 kg	16%以上	16%以上

3 第五次及び第六次計画の進捗状況

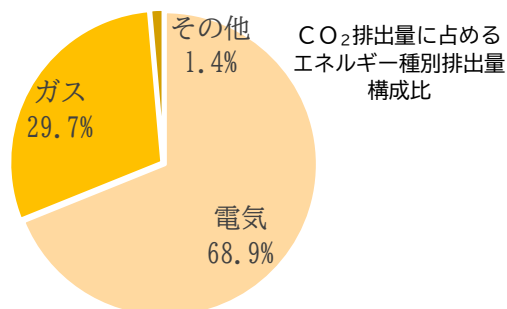
(1) 温室効果ガス（CO₂）排出量（t-CO₂）



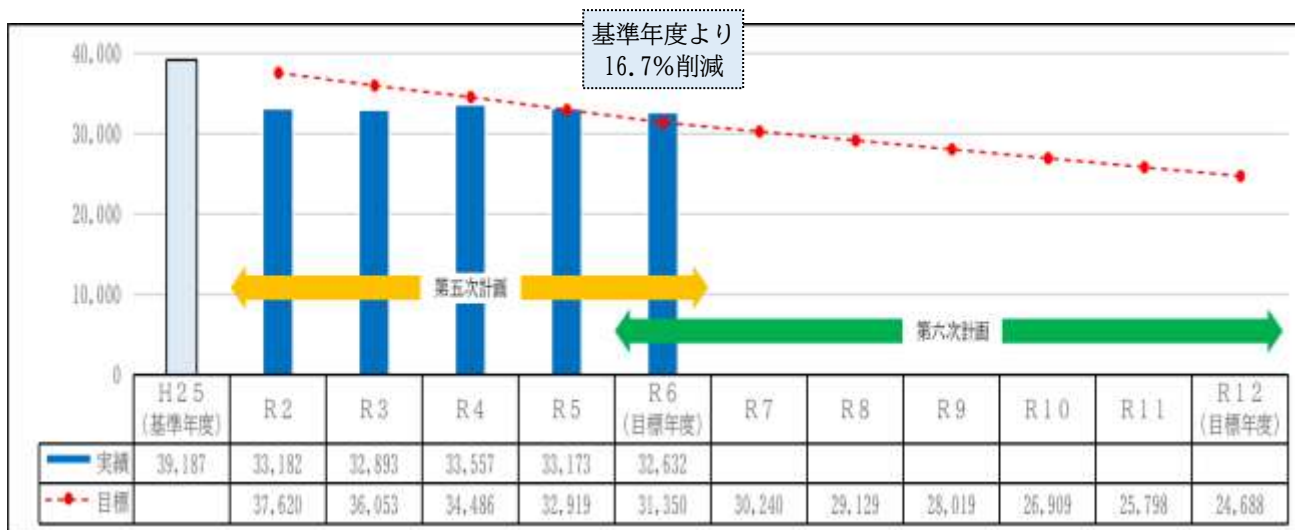
令和6年度のCO₂の排出量は16,836t-CO₂となり、基準年度（平成25年度）比で約31.4%減少している。これは、職員の節電の取組や照明・空調の改修など省エネ設備の導入効果によるものと考えられる。

(2) エネルギー等使用量

CO₂の排出量をエネルギー種別に見ると、電気の使用による要因が約69%、ガスの使用による要因が約30%で、両者で全体の約99%を占めている。

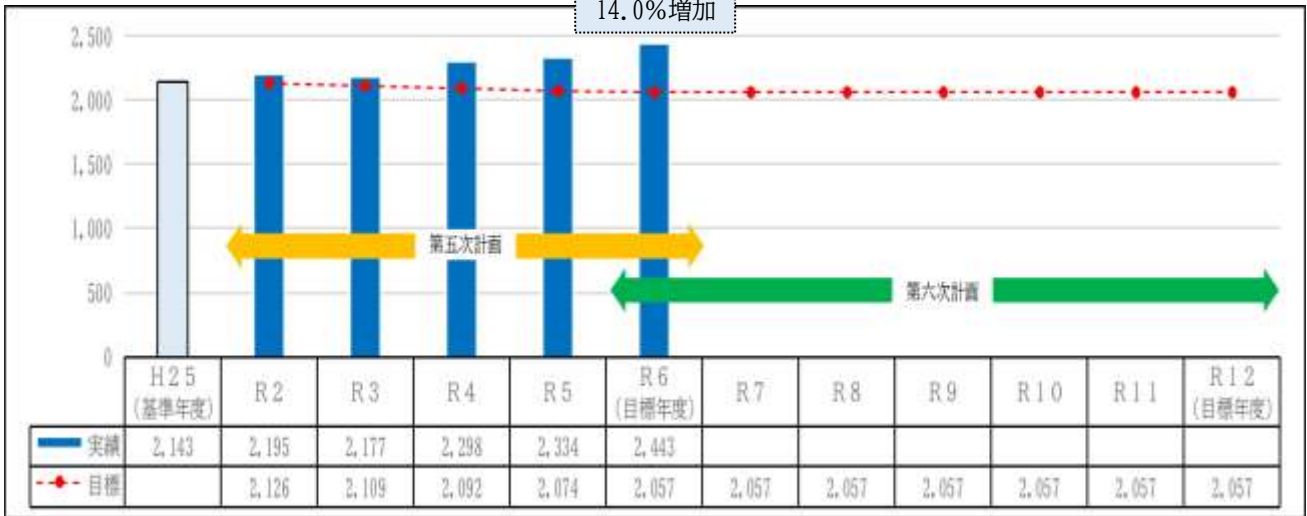


① 電気使用量（千kWh）



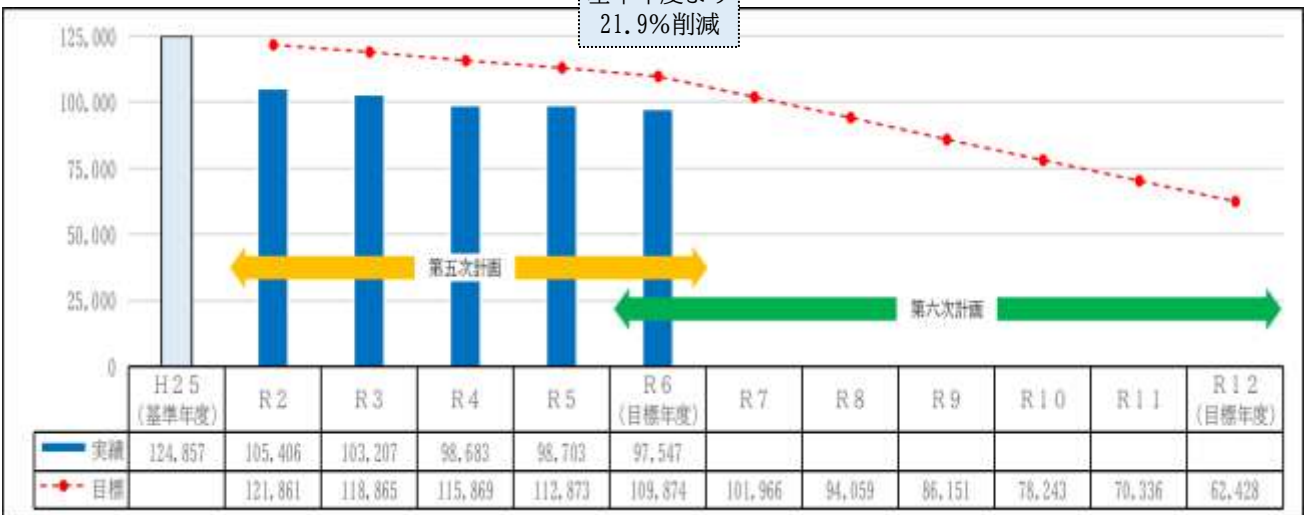
② ガス使用量 (千 m^3)

基準年度より
14.0%増加



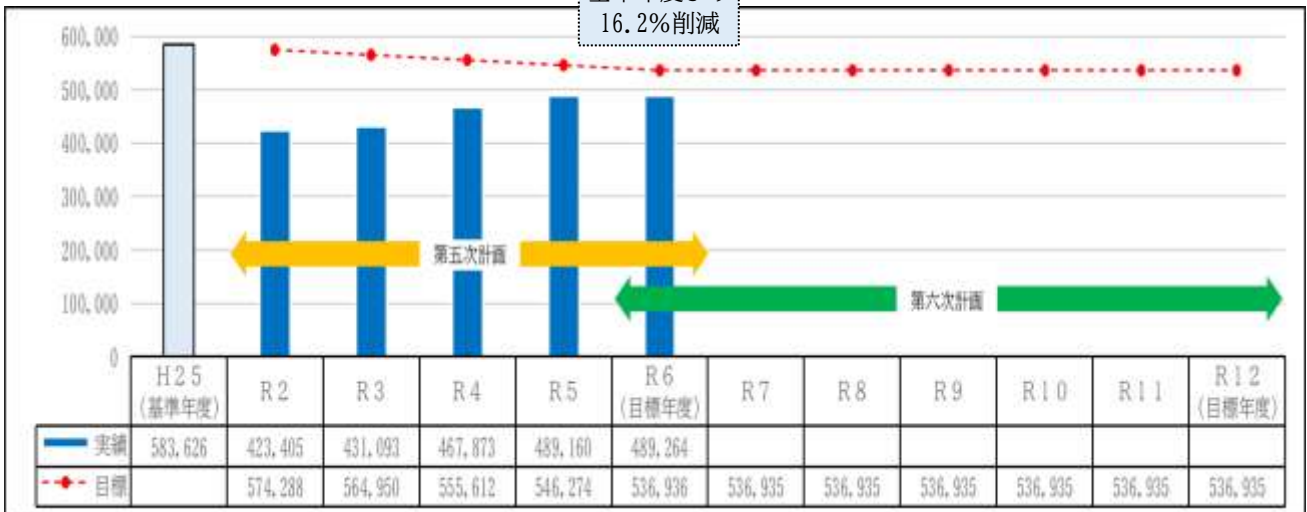
③ ガソリン等車両用燃料使用量 (L)

基準年度より
21.9%削減

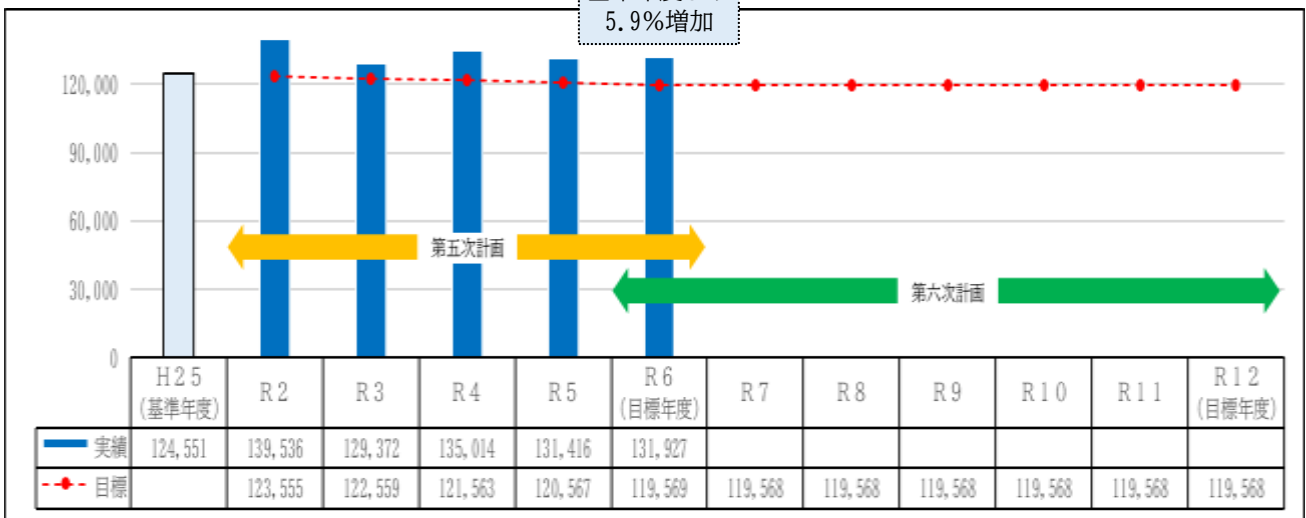


④ 水使用量 (m 3)

基準年度より
16.2%削減



⑤ 用紙使用量 (kg)



⑥ ごみ排出量 (kg) ※指定管理施設を除く

